

高知県労連

No. 123
 発行：高知県労連書記局
 住所：高知市丸ノ内2-1-10
 〒780-0850 高知城ホール3階
 [TEL]088-872-3406
 [FAX]088-822-7969
 ホームページもご覧下さい。



増勢を力に 大会を飛躍の契機に！

住み続けられる地域作り

「地域から「貧困」をなくす」

高知県労連は九月十二日(日)、第二十三回定期大会を開催します。この大会は、加盟組合と組合員の奮闘により組織増で迎えることになりました。

医労連・ちひろコスモス

労組の結成、年金者組合の高齢者人口比〇・五%の組織建設、高知一般・幡多けんみん病院の清掃部門での全員加盟と香長中央病院での過半数組織の達成、福祉保育労の福祉職場での七名の非正規職員の正職員化とそれに伴う組織拡大など教訓的な成果をあげてきました。労働相談センターの年間相談件数も三百件に迫り、「組織作り」型相談をめざし、組織拡大につなげていきます。

あつたか村・年末相談会には多くのボランティアが集まり、貧困問題を何とかしたという人たちのネットワークが広がりました。また、須崎労連の再結成

は、地域での相談活動や宣

一〇月には県社保協に結集し、自治体キャラバンに取り組みます。「各自自治体からあらゆる貧困をなくそう」を合言葉に共同を呼びかけます。

一二月にはあつたか村をより広い共同で開催します。また、安芸、南国、須崎、四万十市での開催もめざします。地域労連の活性化、地域のさまざまな活動をたばねる役割が期待されます。一〇月から一二月は組織拡大月間。労働

示してくれました。

相談センターをフル稼働させ、相談を組織化につなげ、更に「一人から組織へ」をめざします。加盟組織を含め、従来発想を超えた拡大計画の知恵出しを行います。

第二十三回定期大会を運動と組織の飛躍の契機にしようではありませんか。

県労連 第23回定期大会告示

開催日時
2010年9月12日(日)
10時～17時

開催場所
高知市東部健康福祉センター

議 題
10年度運動方針案
09年度決算報告・会計監査報告
10年度予算案
規約・規定の改正案
10年度役員選出
その他

針路

コンビニのレジに並ぶ。気になるのは、「いらつしやいませ」の変な抑揚の挨拶だけではない。ブルーとピンクのボタン。一才まで。一三才から一九才まで。二〇代。三〇才から四九才。五〇才以降。年齢区分の仕方は問うまい。客は店員によって男女別、年代別に勝手に分類され入力される。いわゆるPOS(販売時点管理)システム。この情報が在庫、生産管理。人気商品の開発に生かされる▲「世論調査民主主義」という言葉を聞く。調査方法の簡便化で、それこそ日替わりで「民意」が分かる。まさに、政治におけるPOSだ。選挙期間中となれば、なおさら▲民意が政治を動かす可能性という積極面。しかし、民意が誘導される危険性。特にマスコミ(資本)。また、政治のポピュリズム化。人気取りの政策に傾き、理念がないがしろにされる危険性も。民主党の党首選挙が九月にある。選挙に勝てる「顔」が重視されるなら一年間に三人目の首相誕生もありうる▲翻って政治を国民の手に取り戻すための世論形成。これをどう進めるのか。労組大会の季節。明確な理念を前提に、組合員や地域の要求把握と魅力ある運動提起。労組流のPOSが求められる。

原水禁世界大会開催

被爆から六十五年―

『核兵器のない世界』 周辺に

八月四日（水）から八月六日（金）にかけて、原水爆禁止二〇一〇年世界大会が広島で開催されました。世界中から「核兵器のない世界」を願う八〇〇〇名もの人々が参加し、高知県からも四十名以上が参加しました。大会には国連代表も参加し、『核兵器のない世界』の実現へ意欲を見せました。



開会総会の様子

開会総会では秋葉広島市長の挨拶や、メキシコ、マレーシア政府代表から挨拶が行われました。五日には、十九の分科会へ分かれ学習や意見交換を行い、『自治体での非核・平和のとりくみ』では、自治労連南門市職労の森本書記長が南国市での署名の取り組みや地域の平和団体との共同について発言しま

した。フォーラムではメキシコ大使、マレーシア大使、エジプト大使を招き、NPT再検討会議での核兵器廃絶へ向けた流れや各国の核軍縮についての考えを参加者とお話形式で行いました。印象的だったのは、エジプトの大使が、「二〇二五年までには、核兵器の廃止は可能ではないかと考える。」と発言したことでした。それと同時に、日本がイニシアティブを発揮することへの期待が込められているのを感じました。六日の閉会総会には、国連代表セルジオ・ドゥアルテ氏が訪れ、ここでも唯一の被爆国である日本に対する期待と、平和団体による草の根運動の大切さが訴えられました。数年前まで『核兵器のない世界』は夢物語であり、実現不可能と思われていました。しかし、オバマ大統領のプラハ演説や、NPT再検討会議によって『核兵器のない世界』が現実味を帯びてきました。世界大会でも、「核は無

くせる」という雰囲気がひしひしと伝わってきました。そのような情勢の中で、唯一の被爆国である日本の果たすべき役割と、政府の姿勢について考えさせられます。

案内



10年社保学校を開催

『くらしと福祉、医療を守る全県キャラバン』を今年も開催します。その前段として医療・介護・国保・保育・年金生活保護についての学習会を開催します。参加費は全体の通しで三〇〇円（一講座は一〇〇円）となっています。是非ご参加下さい。

万一の病気・不慮の事故にそなえて

医療共済

1か月わずか1,000円税別の掛金で

病気入院 5,000円	病気休業補償 2,500円
不慮の事故入院 5,000円	不慮の事故休業補償 2,500円

お申し込み・お問い合わせは 各県支部へ

日 程	時 間	講座内容	会 場	講 師
9月03日（金）	14:00～17:00	医療・国保	県教組会議室	医療：重光さん・国保：山岡さん
	18:30～20:00	保育	県教組会議室	保育：山下さん
9月10日（金）	14:00～17:00	介護・年金	県教組会議室	介護：池上さん・年金：年金者
	18:30～20:00	医療	保険医協会	医療：重光さん
9月17日（金）	14:00～15:30	生保	県教組会議室	生保：塩治さん
	18:30～20:00	国保	県教組会議室	国保：山岡さん

中央最低賃審議会・目安答申

八月六日、中央最低賃金審議会は厚生労働大臣に対し、二〇一〇年度地域別最低賃金額改定の目安を答申しました。その内容は、A、B、C、D各ランクとも十円の引き上げを基本としつつ、最低賃金が生活保護水準を下回っていると審議会が認定した都道府県については乖離幅の解消を優先し、乖離額の大きい地方については、解消年限を一年延長するなどのものでした。

この結果、今年度の最低賃金改定の目安額は、全国加重平均で十五円となりました。時間額表示となった〇二年以降で初めてDランク地方の目安額を二桁に乗せ、上位ランクと同額として地域格差の拡大を抑制したことや、中小企業の賃金改定状況がマイナスを示す中で二桁改定であることなどは、単産、地方組織のこの間の奮闘を一定反映したものです。

しかし、ワーキングプアの解消や均等待遇への接近、消費購買力向上による景気回復を求める立場からの「時給一〇〇〇円」要求には程遠く、現行最低賃金法の限界が、あらためて明らかになったと言わざるを得ません。

高知・意見陳述

七月二十三日、高知県労連は、高知労働局で開かれた高知地方最低賃金審議会へ出席し、高知県の「最低賃金一〇〇〇円以上への大幅引上げ」を求める意見陳述を行いました。



ました。

最低賃金法第九条三項と憲法二十五条を引用し生存権を保障している同法の趣旨を大前提に地域別最低賃金改定の審議を行うべきであると強調しました。

現行の最低賃金額は、厚生労働省の計算法によって、最低賃金が大きくされ、逆に生活保護基準が小さくされています。これによって、実際には、生活保護水準が最低賃金を上回る逆転現象が起こつています。

県労連は、真に生活保護との整合性をはかるため改めて吟味をすべきだと強調しました。

青年部からは、自らの最賃生活体験を通じて、現在のあまりにも低すぎる最賃額(六一三円)では、いくら生活を切りつめてもどうしていきまともな人間らしい生活はできない。まともに働いたらまともな生活できるような最低賃金が必要」と、最低でも一〇〇〇円以上の引上げを実現してほしいと訴えました。また、最低賃金審議会は原

搾やん奮戦記⑫

七月、高知県労連こうち労働相談センターには、十五人(女性九人、男性六人)の人たちから相談が寄せられました。雇用形態は、正規十人、パート一人、契約一人、不明三人。事業規模は、三十人〜一〇〇人以上四人、一〇〇人以上二人、不明七人。相談の契機は、電話帳五人、紹介五人、インターネット二人、不明三人。相談内容は、解雇・退職強要三人、賃金・不払残業四人、年休一人、労働条件二人、社会保険一人、パワハラ二人、その他二人でした。

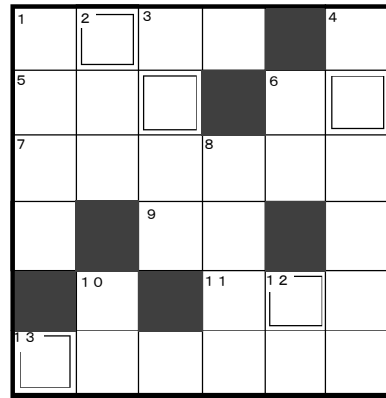
特徴的な相談事例では、販売業に勤務する男性から、「会社から賃金体系を日給制から完全歩合給制に変えろとの突然の通知をうけた。が、心配なのは、物が売れない中、賃金体系を変えられと売り上げが少ない場合は、大幅な賃下げとなり収入も不安定になるので困る。会社の言いなりにならないと

いけないか。」との相談が寄せられました。アドバイスでは、

- ①賃金体系を変えるためのきちんとした説明を求めること
- ②仮に変更を受け入れることになった場合でも賃金の最低保障(労基法第二十七条の遵守)を求めることなどを伝えました。また、ひとりでは立場が弱い。会社の言いなりになるケースが多く見受けられるので、労働組合に入つて不利益となる賃金・労働条件面での押しつけを安易にやらさないために応援できるのでいっしょに力を合わせ要求をしていきたいと思います。組合加入をアドバイスしました。

七月の相談を通じて、二人(女性一人、男性一人)が高知一般労組と福祉保育労組に個人加盟しました。労働相談センターは、「二人から組織へ」と、さらなる取組みを進めていきます。

これに対し、当日の意見書のなかでも、「審議会や専門部会を公開すること」とする高知労働局長に対しての要請を行っています。



クロスワードパズル
カギを解き、二重ワクに入る文字を並べ替えてできる言葉は何？
〔タテのキー〕①浜辺 ②

民間会社が経営する鉄道 ③新
たに建物を造ること ④船便で
はなく——で送る ⑥ボキャ
ブラリー ⑧——ダイオード
⑩レクリエーション ⑫〇〇
を開く。〇〇を正す

【ヨコのキー】
①貸間 ⑤店舗を
郊外に——
⑥〇〇に入って
は〇〇に従え
⑦通りがかりの
車にただ乗りし
て行う旅行 ⑨瓜
田に〇〇を納れ
ず李下に冠を正
さず ⑪——のチ
リソース本 ⑬日
本の森林面積
約3倍が——

クロスワードパズル

**図書券プレゼント
チャレンジ**

〈応募方法〉
クロスワードの答え
と、機関紙の感想、組合
名、郵便番号、住所、氏
名、年齢を記入の上、県
労連書記局宛にお送り
下さい。
抽選で三名様に図書
カードをプレゼントし
ます。(ハガキ、FAX、
eメール)締め切りは翌
月の二十日になります。

当選者の発表！

七月号・クロスワードパズル
の答えは「アマノガワ」でした。
当選者が抽選で決定しました。
おめでとうございます。当選を
逃した方もドンドン挑戦してく
ださい。

〈当選者〉
岡本 肇さん
(高教組)
高橋 理さん
(香美市職労)
中山 裕康さん
(県教組)

自分らしく 明るく暮らしたい

働くものの学習交流会を開催

七月二十四日(土)から二十五日(日)にかけて、「第十二回
働くものの学習交流会 in 香川」が香川県のNPO・しおのえセ
カンドステージ開催され、四国から青年を中心に、のべ〇一名
が集まり、高知県からは四名が参加しました。主催は青年部を中
心とした香川県実行委員会、全労連四国地区協議会などの共催
によるものです。



(青年を中心に101名が参加)

青年が中心ということもあり、オリエンテーションや分科
会にも、随所に青年らしさがち
りばめられていました。初日に
は、全労連青年部書記長の野村
昌弘氏が講演を行い、青年部の
取り組みなどの実践を報告し
ました。分科会では、六つの分
科会に分かれ、料理や音楽、メ
ンタルヘルスから思いを伝え
るしやべり方など、幅広い学習
を行いました。

来年は愛媛で「働くものの
学習交流会」が開催されま
す。今回は従来とは違った学
習交流会でした。それを受け
て、来年はどういったものにな
っていきうかが楽しみです。

川柳紹介

貧困に 怒り名を書く 保護申請(源朝光)
強さより 優しさ欲しい 福祉には(源朝光)
嫁仕分け 子どもの服代 対象外(牧師)

時事川柳を募集！

風刺をきかせた川柳をお寄せ下さい。



携帯サイトを
開設しました
ご覧ください